

みてみて！ 仏像のポーズ

令和5年度前期特別企画展

手足が語る“みほとけと立山”



木造帝釈天立像(当館寄託)



“こんなにちがうのに
たいしゃくてん
同じ帝釈天!?”



銅造帝釈天立像
(重要文化財、当館蔵)



鉄造如意輪観世音菩薩坐像
(富山市指定文化財、富山市・円隆寺蔵)

“立しざ”は
ぎょうぎ
お行儀が悪い!?”



木造燃尊坐像
(富山県指定文化財、芦峯寺閻魔堂蔵)

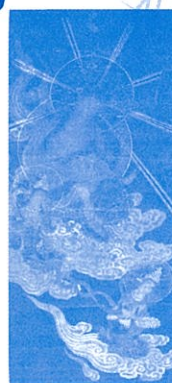
初公開の
資料も!

仏像には様々なポーズのものがありますが、不思議に思ったことはありませんか。実は、このような仏像のポーズには意味があり、手や足をじっくり観察することで、像を造った人びとの祈りや、像がたどってきた歴史をうかがい知ることができるのです。

本企画展では、立山信仰の世界に登場する仏さまたちの手足に着目！仏さまのポーズを通じて、仏像や仏教にあまり親しみのない方や、お子さんにも楽しんでいただけるよう、やさしくみほとけと立山の関わりを紹介します。

当館おなじみの仏像に加え、天徳院ゆかりの寺院に伝わる三つ葉葵の紋が入った「木造不動明王立像」(日石寺蔵)や、新出資料の「阿弥陀三尊来迎図」(常楽寺蔵)など、初公開の資料も見どころです。

ポーズの意味を知ると、またちがった仏像の魅力に気づくかもしれません。



阿弥陀三尊来迎図
(富山市・常楽寺蔵)



木造不動明王立像
(上市町・日石寺蔵)

【関連イベント】

○ギャラリートーク

「仏像の種類、印相、坐勢についての基礎知識—日本仏像史入門—」

講師：三宮 千佳氏 (富山大学芸術文化学部 准教授)

日時：8月5日(土) 14:00~15:00

会場：展示館1階 企画展示室内

※事前申込不要、参加には本企画展チケットが必要です。

○担当学芸員解説会

7月15日(土)、8月12日(土)、8月26日(土)

各日 14:00~

【会期中の休館日】

月曜日(ただし、8/14は開館)、7/18(火)

会場：富山県 [立山博物館] 展示館1階 企画展示室

主催：富山県 [立山博物館]

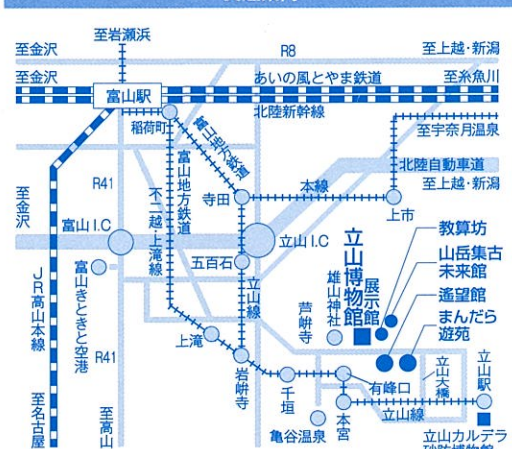
共催：北日本新聞社

後援：北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送、NHK 富山放送局、Net3

【その他の主な展示資料】

- ・鉄造阿弥陀如来坐像 (黒部市・辻徳法寺蔵)
- ・立山曼荼羅 称名庵本 (重要有形民俗文化財、当館蔵)
- ・勅封二臂如意輪観世音菩薩坐像 (射水市・光明寺蔵)
- ・絹本着色十二天図(長谷川信春筆、帝釈天の幅)(複製、羽咋市・正覚院蔵)
- ・石造地藏菩薩坐像(室堂安置)(個人蔵)
- ・立山曼荼羅 吉祥坊本 (重要有形民俗文化財、当館蔵)
- ・十巻鈔(西尾市岩瀬文庫蔵)
- ・明治増補 諸宗仏像図彙(富山県立図書館蔵)

交通案内



【電車の場合】富山地方鉄道立山線「千垣駅」下車後、徒歩(約2km)
※日曜日を除き、千垣駅から町営バス運行

【車の場合】JR富山駅から約45分/富山地方鉄道「立山駅」から約15分
北陸自動車道「富山IC」から約35分/「立山IC」から約30分

富山県 [立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1

電話076-481-1216 FAX076-481-1144

https://www.pref.toyama.jp/1739/miryokukankou/bunka/bunkazai/home/index.html

